

事務事業名		うんなん幸あり祭実行委員会補助金		所属部	産業振興部	所属課	商工観光課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	商工観光グループ			
	施策名	(38)観光の振興		担当者名	奥井英孝		課長名	落合 正成
	目的	対象	意図	電話番号	0854-40-1054			
	基本事業名	(114)観光情報の発信		(内線)	3715			
目的	対象	意図	予算科目	会計	款	大事業	大事業名	
	市外の人・市民		市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。	0	1	3	5	0
	市内の人		観光情報を得てもらう。	2	0	0	2	観光宣伝事業
	市内外の人		観光情報を得てもらう。	0	5	1	5	0
				7	0	7	7	食の幸発信イベント事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市は、これまで「雲南ブランド化プロジェクト」により、「人の幸」「自然の幸」「歴史の幸」「食の幸」など、雲南市ならではの地域資源を活かしたまちづくりに取り組んできました。そこで、これまでのこうした取り組みについて、市制施行10周年を契機に毎年広く発信することとし、「安心安全な食」「神話に繋がる神楽」「伝統芸能」などの魅力を発信することにより、更なる産業振興、交流人口の拡大を図ることを目的として、11月1日、2日に「うんなん幸あり祭」を開催した。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)				
	(1) ステージイベント 太鼓の共演、神楽の共演、中学校吹奏学部共演	11月1日または、3日に1日のみで開催予定。イベント内容は、前年の結果をもとに検討する。				
	(2) 小泉八雲・朗読LIVE「神話」					
	(3) ファーマーズバイキングレストラン					
	(4) うんなん丸ごと農産物直売所					
	(5) 特産品即売市場					
	(6) 飲食ブース					
	(7) うん？なに屋？子ども向け職業体験ブース					
	(8) 雲南市紹介コーナー など					
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
ア	来場客数	人			5,000	5,000
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	市外の人	ア	全国の人口	千人			127,083	126,597
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)		
雲南市を訪れてもらう。	ア	観光入り込み客数	千人			1,376.9	1,300.0	
	イ	観光消費額	百万円			3,852	4,300	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
実行委員会補助金 5,724千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	事業費	地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円		5,724	4,500
		事業費計(A)	千円		5,724	4,500
	人件費	正規職員従事人数	人			2
		延べ業務時間	時間			150
		人件費計(B)	千円		583	
		トータルコスト(A)+(B)	千円			6,307

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中国横断自動車道尾道松江線の全線開通により、山陽方面からの来訪者が増えている。	特になし	・飲食コーナー、特産品販売の出店者からは、出店料を下げてほしいとの要望あり。

事務事業名	うんなん幸あり祭実行委員会補助金	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由 H26は初年度であったため、過去に雲南広域連合が実施したイベントをたたき台として実施した。 将来的には、策定中の中心市街地活性化基本計画に基づく民間主導の誘客イベントとする必要がある。
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		理由 観光客の受け入れ態勢整備(駐車場確保、市民のおもてなし意識向上等)やイベント内容などにより集客を増加させることは可能と考える。また、市内で消費してもらう仕組みづくりの強化について検討が必要。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有		理由 最も集客力の高いイベントを廃止すれば、市内への交流人口が減り、経済波及効果が期待できなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由 現時点では他のイベント等との連携は困難だが、将来的に既存イベントの集約を検討することが必要。
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由 歳出は削減はできるだけ実施した。出店料などによる収入にも限りがあるため、事業費の削減余地はない。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない		理由 イベント実施体制の再構築を行い、行政が関与すべき業務を削減できれば、人件費の削減にも繋がる可能性はある。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由 受益者は、観光客や一般市民であり公平である。商業事業者の参画を促すことで、受益機会の公平性が確保できる。市全域に受益があるようなPR等を検討する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) イベント内容については、事業費等を見直せる余地があるかもしれないが、警備・衛生管理等については、現状維持、もしくは強化しないと観光客の減少につながる可能性がある。住民ボランティアの参加と地元への経済効果の波及、木次・三刀屋地区以外にイベント効果をどのように波及させていくのかも課題。
	A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
雲南市を訪れてもらうためには事業の継続が必要不可欠である。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。																			